

No. 1530

# タモでアユとり

— 愛 知 —

愛知県新城市出沢地区を流れる寒狭川には鮎滝と呼ばれる名勝があります。

この滝をアユが遡上するため、飛びはねるところをタモですくう漁法が伝わっています。この漁法、新城市の出沢地区の40戸だけに許されたものです。

江戸時代の寛永20年出沢の滝川一貞が当時丸太など流材の通行の障害になっていた寒狭川の滝を切り開いたところ木材の流通もよくアユも遡上する様になったのです。領主がその功績を賞して一貞に永代、鮎滝の支配が出来るお墨付を与えたのです。一貞は村民にも鮎の漁を許し今日まで続いているのです。

今年は水温がやや低くアユの飛ぶのが低調の様ですが多い日には100匹以上とれるといえます。こうして村では村民が交代でタモでアユとりの毎日のようです。

# がんばれベトちゃん

— 結合双生児 —

ベトナムの結合双生児ベトちゃん、ドクちゃん六歳が日本で本格的治療をうけるため来日しました。腰から下が一つの二人はベトナム戦争で米軍が使用した枯れ葉剤の影響を受けたのではないかと云われています。

この報道は米国ではされていないようです。

6月19日夜、羽田空港に到着した日航特別機。5月以来意識不明の続くベトちゃんと元気そうなドクちゃんは担架に寝たままりフトから救急車に移されて渋谷区広尾の日赤医療センターへ向いました。今回の日本への移動は日本、ベトナム両赤十字社による全く人道的な立場から行なわれたもの。医療センターに着いた二人は6時間の空の旅の影響など診療をうけ安静状態が続いています。

そのあと同行して治療に当たった医師団の記者会見。「ベトちゃんは脳の炎症を起しており、その原因は検査してみないとわからない。発病して1ヶ月たっており回復の見通しは明るくない」と所見をのべました。

まずは二人の生命を最善の医療によって助けてあげたいものです。